

人材の確保・育成に対する日空衛の取組み

一般社団法人日本空調衛生工事業協会 業務部長 鳥羽 宏

1 はじめに

当協会は、会員企業・県協会等の情報交換、空調衛生設備技術の向上、業界の発展と国民生活環境の向上に寄与することを目的とし、各種委員会活動を中心に、会員への情報提供や技術開発普及、業界やそこに働く人々の社会的地位向上を図る様々な取組みを行っている。

近年の社会経済情勢の大きな変化に伴い、空調衛生工事業界においても技術者・技能者の不足が、安全と品質の確保に深刻な影響を及ぼし、今後の工事量に変動があっても、高齢化と若年入職者の減少により、将来的に人材が不足することは避けられない状況であることから、人材の確保・育成が、緊急な課題となってきている。平成26年9月に当協会の理事会の下に「人材確保・育成特別委員会」を設置し、この課題に取り組むこととした。

「人材確保・育成特別委員会」では、ビジョンWGとアクションWGの二つのWGを設置して、今後の人材確保・育成の方向性や具体的な行動のためのビジョン、人材確保ツールの作成等を検討している。

これまでに、ビジョン作成のための「アンケート」を当協会の会員企業に対して実施するとともに、人材確保・育成のツールとしてのPRビデオ、リクルートパンフレット、人材確保・育成への取組み事例集の作成等を進めている。

アンケートは、その後のビジョン作成を考慮して、技術職員数や年齢分布、女性や高齢者の業務、技能者の不足状況等を対象として行った。

2 アンケート結果概要

アンケート回答企業を、年間の完工高にてグループ分けし、Aグループ（概ね250億円以上）Bグループ（概ね70億円～250億円）Cグループ（概ね70億円以下）に分けて、集計した。

① 技術者数の状況は、図1となった。

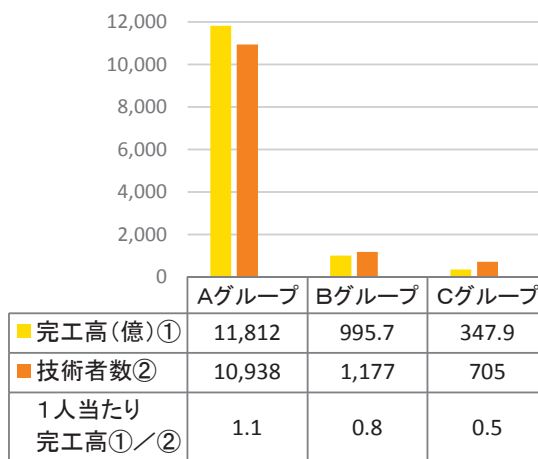


図1 技術者数と完工高

② 技術者の年齢別構成割合は、図2となった。

30代の年齢層が少なく、40代の年齢層が多く分布しており、10～20年後が危惧される。

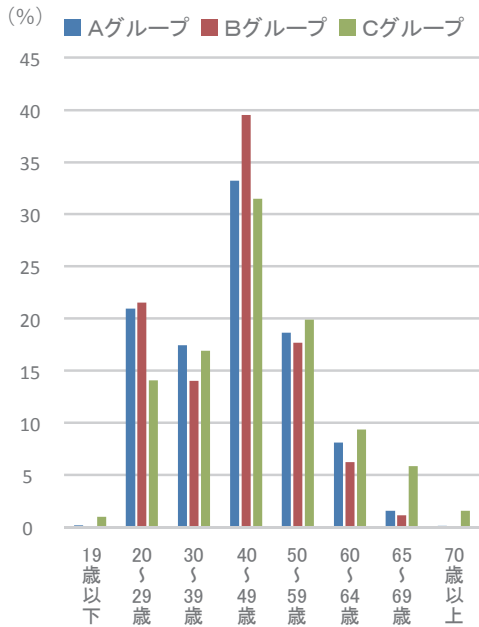


図2 技術者の年齢別構成割合

③ 技術者に対する男女の比率は、Aグループで男性96%、女性4%となっている。BCグループは女性の割合が2%となっている。

④ 女性技術者が従事している業務は、図3のとおり設計・積算業務がABグループ共にトップで施工管理が次となっている。

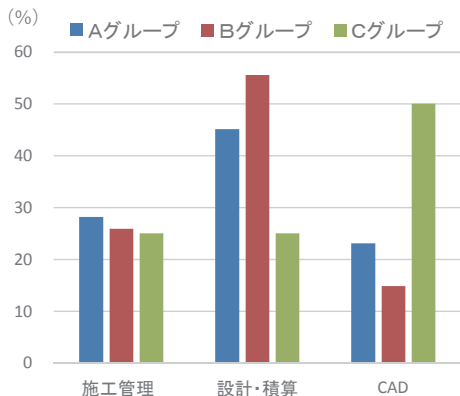


図3 女性技術者が従事している業務割合

⑤ 高齢者（65歳以上）が従事している業務は、図4のとおりにどのグループも施工管理がトップとなっている。

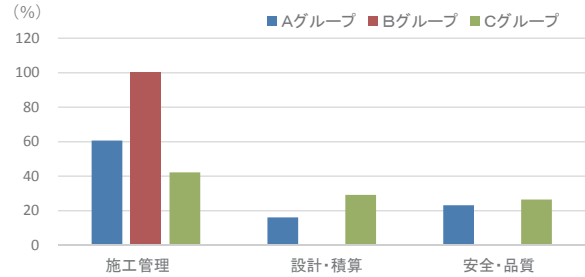


図4 高齢者（65歳以上）が従事している業務割合

⑥ 外国人技術者の活用では、海外に拠点がある企業数社が外国人活用に積極的で、大部分の企業は必要性を感じていない。

⑦ 新規採用者の採用目標や確保状況については、ABグループは概ね目標を確保しているが、Cグループについては、採用目標数を確保できない状況が続いていると回答されている。

⑧ 技能者については、最近で技能者不足で支障を生じた工事数が、Aグループで12工事、Bグループで4工事、Cグループで11工事とあり、技能者不足で支障を生じた職種は、ABCグループ全体で、空調衛生配管がトップで23件、消火設備配管で11件、ダクトで10件、保温保冷で7件、冷媒配管で3件となっており、全部で54件発生している。

⑨ 技能者の確保・育成対策として、特徴的な対応策を行っている企業を以下に示す。

- ・マイスター制度を導入している（Aグループ）。
- ・協力会社の優良技術者への報奨制度を検討中（Bグループ）。
- ・配管工の不足に伴って、自社での採用・育成を積極的に行っていく（Cグループ）。
- ・協力会社の事業主と協力して技能者の確保に努め、資格取得を支援する（Cグループ）。

以上が、アンケートで回答が得られた内容の抜粋となる。

3 ビジョンの作成

ビジョンWGでは、前述のアンケート結果を基に、各サブテーマを決め、サブテーマ毎に議論している。サブテーマは以下のとおり。

- ・採用等の人事管理のあり方
- ・女性の更なる活躍の推進
- ・定年退職者（60～64歳）及び高齢者（65歳以上）の活用
- ・外国人の活用
- ・技能者の確保

サブテーマ毎に、アンケートの分析と現状の課題・問題点の抽出を行い、抽出した課題に対する対応の方向性の検討を行った。その後、論点を明確にした議論を行い、課題・問題点への取組み・対応策の検討・整理を行い、今後の取組み・対応策の提案を検討して、本年5月に策定した「日空衛2015—新たな中期ビジョン—」と整合させ、今年度中に報告書にまとめていくこととなっている。

4 ビデオ・パンフの作成

アクションWGでは、人材確保・育成のツールとして、業界PRビデオやリクルート用パンフレット、中堅・中小会員への人材確保・育成取組み事例集の作成等を行っている。

PRビデオは、3種類のビデオを作成（業界説明映像、仕事紹介映像、イメージ映像）し、様々な用途に対応するよう考慮して作成している。

人材確保のパンフレットは、若者向けに検討し、易しく分かりやすい点を考慮して作成してい

る。

人材確保・育成の取組み事例集については、採用から教育、資格取得等について各種事例を集めて参考とされるよう作成している。

5 今後の課題

当協会として、人材の確保・育成には、人材確保・育成特別委員会を中心として、ビジョンやPRビデオ等を作成しているが、人材の確保・育成には、各企業それぞれの実情に併せた行動が必要と思われる。

そのためにも、各企業が行う人材確保・育成に向けた取組みに対して、様々な求められる情報を、当協会から発信していくことが、業界発展のためにも必要である。

また、アンケートから空調衛生工事業界の人材確保・育成に関しては、以下の点が大きな課題として抽出された。

- ・図2の人員構成に関して、40歳代が多く30歳代が少なく分布している
- ・女性技術者のライフイベント（結婚、出産、育児など）への対応
- ・技能者の確保・育成
- ・中小規模の企業の人材確保・育成等

これらの課題に対しても、今後の業界発展のために、協会として対処していくこととしている。